

この度、林勉様の後任として、代表幹事に就任しました金氏 顯(かねうじあきら)です。よろしくお願いします。

エネルギー問題に発言する会は2001年10月1日に発足、昨年で10年という節目を迎えました。その間の歩みは正月早々に林様が会員に配信されました「エネルギー問題に発言する会、10年の歩み」でご自身振り返っておられます。この10年間の発展を代表幹事として献身的に推進してこられた林勉様に、まず心より深く感謝の意を表したいと思います。

さて、昨年3.11の東電福島第一原子力発電所の事故は、私達原子力を推進してきた者として誠に慙愧に堪えないものでした。そして、国民は原子力の安全性に大きな疑問と放射能に対する大きな不安を抱え、我が国は“原子カルネッサンス”から“脱原発”へと大きく舵を切ろうとしています。私達は事故を真摯に反省し、国民の不安や恐怖に真摯に向き合うとともに、エネルギー安全保障が脆弱な我が国の将来のエネルギーの選択が誤った方向に行かないようにすることも務めであると思います。

今こそ、発足時の設立趣意書の『……多岐に亘るエネルギー問題に対して、私達個々人の多様な意見を社会に発信してまいります。』という初心に帰って、“天変地異”にめげず、“艱難辛苦”しながら、“多士済々”の会員の皆様とともに“和気藹々”と“是々非々”で“初志貫徹”して参りたいと思います。

金氏 顯 (かねうじあきら)